

# 伊豆・東部

**東部総局**  
沼津市魚町1サンフロント内  
編集(055)962-0380  
FAX(055)963-9570  
SBS(055)962-0383  
FAX(055)962-6515  
営業(055)962-0381

**三島支局**  
三島市南本町15-9  
☎(055)976-2700  
FAX(055)976-2711

**富士支局**  
富士市瓜島町149-2  
☎(0545)52-0451  
FAX(0545)53-3293  
SBS☎(0545)53-0070

**富士宮支局**  
富士宮市ひばりが丘1110  
☎(0544)28-0452  
FAX(0544)26-3068

**御殿場支局**  
御殿場市二枚橋55-25  
☎(0550)82-0157  
FAX(0550)83-9437

**熱海支局**  
熱海市清町17-3中野ビル3階  
☎(0557)86-0293  
FAX(0557)82-2953

**伊東支局**  
伊東市大原3-17-20 1F  
☎(0557)37-2086  
FAX(0557)36-1518

**下田支局**  
下田市東本郷2-7-25  
☎(0558)25-0163  
FAX(0558)22-6785

**松崎支局**  
賀茂郡松崎町江菜626-7  
☎(0558)54-0024  
FAX(0558)42-2458

**大仁支局**  
伊豆の国市田京126-1  
☎(0558)75-0152  
FAX(0558)76-0361



在校当時の写真に見入る国際観光専門学校の卒業生たち—熱海市内

## 30年ぶり旧交温める

### 熱海・国際観光専門学校同窓会

熱海市にある国際観光専門学校(以下「専門学校」と呼ぶ)の第9期生(11期生)のうち110人がこのほど、同市内のホテルで同窓会を開いた。熱海の地に集うのは卒業以来、大規模な同窓会は同校で初めてという。

1968年開校の同校を78、80年に卒業した9期生は現在50代に差し掛かり、仕事もさまざま。発起人のホテル社員佐藤秀嗣さん(53)は「9期、札幌市には『同窓会』という声が年々高まった。熱海の現状を見たい気持ちもあった」と話す。約1年前から声を掛け合い、全国の約900人のうち約250人の連絡先が分かった。

会場では、在校当時の写真などを展示やスライドで紹介した。参加者は思い思いに青春を振り返り、懐かしい顔ぶれと旧交を温めた。

ホテルの寮に入り、働きながら学んだ元「委託奨学生」も参加した。川上(旧姓石川)洋子さん(52)は「9期、青森県弘前市」の委託先は、この日



## 沼川・春景

### <1>

ナガエミクリの黄緑の葉が緩やかに揺れる。富士市(以下、記事は沼川)の春景が、この日、沼川に



長尾副支社長から表彰を受ける風間さん

### 郵便事業会社

「手紙作文コン」文科大臣賞

「第42回手紙作文コンクール」(郵便事業会社主催)で最高賞の文部科学大臣賞を受賞した富士市立吉原一中3年の風間愛さんが8日、同社から表彰を受けた。

## 風間さん(吉原)を表彰

「第42回手紙作文コンクール」(郵便事業会社主催)で最高賞の文部科学大臣賞を受賞した富士市立吉原一中3年の風間愛さんが8日、同社から表彰を受けた。

同校で開かれた表彰式

## メイクで笑み広がる

### 富士のケアハウス

富士市天間のケアハウス「富士の里」(近藤信人施設長)で8日、メイク教室が開かれ、入所者の笑顔が飛び交った。

施設と取引のある市内の介護ショップ「すぎき(井高隆代表)」の相談員「落合征奈さん」が、化粧品会社の元美容部員の経験を生かして開催を提案。活気づけを期待して実施された。

入所者はメイク教室で、メイク落としから洗顔や、化粧水、乳液の付け方などを解説した。実演でモデル役の入所者の表情が華やかなり、参加者の笑顔や会話もどんどん広がった。

「みないつも以上に生き生きして大成功。約1時間で調理した後、町商工会の関係者が試食し、見た目も味も緑米活用度などから

## 清流

待ち遠しい春の訪れ

カワツヅクラ、大島桜、伊東小室桜。早咲き種のサクラが次々に満開を迎えているが、どこか春の訪れに物足りなさを感じている。

悪天候が続き、伊東の春の伝統行事「大室山山焼き」が4週連続で延期になったからだ。自然が相手なので仕方ないのだが、壮大な炎のショーを見た気持ちは日に日に高まるばかりだ。

重要な観光イベントでもある山焼きは、毎週日曜に順延している。ただ、次の14日も延期となると、観光客の少ない平日に開催せざるを得ないという。やはり春の到来は盛大に祝いたい。この数日、祈る気持ちで週間天気予報を見ている。(伊東支局・豊竹 喬)

清水町「緑米料理コン」の特産品の古代米「緑米」の普及を目指す清水町商工会は7日、町地域交流センターで「第1回緑米料理コンテスト」を開いた。

コンテストはプロと一般の2部門。町内外から計約30名の応募があり、書類審査などを経てプロ6名、一般7名が最終審査に残った。

約1時間で調理した後、町商工会の関係者が試食し、見た目も味も緑米活用度などから

あすのお知らせ

**沼津** 行政相談 午前10時～午後10時、保健センター 午前9時～11時半

**裾野** 外国人相談 午前9時～午後9時

**長泉** 福祉総合相談 午前8時～午後8時

**清水** 康相談 午前9時～午後10時

**富士** 結婚相談 午前10時～午後10時

**御殿場** 介護保険相談 午後1～4時

**伊豆** 健康相談 午前10時～午後3時

**三島** 法律相談 午前10時～午後4時

**小山** ペンギン保育園 午前9時～午後5時

**熱海** 交通安全事故 午前10時～午後3時

**伊東** 住まいる相談 午前10時～午後10時



審査員と見比べる作品 清水町地域交流センター